

# 平成25年度第11回情報数理学セミナー

日時：平成25年11月28日（木） 13:00～14:30

場所：吹田キャンパス 情報棟 A109室

## 特別講演

講師：伊藤伸泰

(東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻・准教授,  
理化学研究所計算科学研究機構離散事象シミュレーション研究チ  
ーム・チームリーダー)

講演題目：多様性の数理

アブストラクト：この世の中は極めて多様である。この多様な現象の中に、運動の法則や原子といった不変なるものを探し出して確立することが科学技術のはじめの一步である。このため科学技術は分析的・要素還元的な性格が強いが、最終的には個々のものから全体のふるまいに立ち戻ることを確立してはじめて完成したものとなる。そして全体に戻る際の最後の壁が多様性である。世の中の多様性を複雑怪奇なノイズとしてとらえて、着地させる手法は確立しているが、世の中の多様性は単純なランダムノイズだけではない。本講演では、こうした問題意識に基づき、多様性の数理的側面について議論したい。

参考文献 Y. Murase, T. Shimada and N. Ito, "A simple model for skewed species-lifetime distributions" New Journal of Physics vol.12 (2010) 063021.